

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質				評価点	重み係数	全体
Q1 室内環境				-	-	3.4
1 音環境				-	-	-
1.1 室内騒音レベル				-	-	-
1.2 遮音				-	-	-
1 開口部遮音性能				-	-	-
2 界壁遮音性能				-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-
1.3 吸音				-	-	-
2 温熱環境				-	-	-
2.1 室温制御				-	-	-
1 室温				-	-	-
2 外皮性能				-	-	-
3 ゾーン別制御性				-	-	-
2.2 湿度制御				-	-	-
2.3 空調方式				-	-	-
3 光・視環境				-	-	-
3.1 昼光利用				-	-	-
1 昼光率				-	-	-
2 方位別開口				-	-	-
3 昼光利用設備				-	-	-
3.2 グレア対策				-	-	-
1 昼光制御				-	-	-
3.3 照度				-	-	-
3.4 照明制御				-	-	-
4 空気質環境				-	-	-
4.1 発生源対策				-	-	-
1 化学汚染物質				-	-	-
4.2 換気				-	-	-
1 換気量				-	-	-
2 自然換気性能				-	-	-
3 取り入れ外気への配慮				-	-	-
4.3 運用管理				-	-	-
1 CO ₂ の監視				-	-	-
2 喫煙の制御				-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.43	3.9
1 機能性				-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-
1 広さ・収納性				-	-	-
2 高度情報通信設備対応				-	-	-
3 バリアフリー計画				-	-	-
1.2 心理性・快適性				-	-	-
1 広さ感・景観				-	-	-
2 リフレッシュスペース				-	-	-
3 内装計画				-	-	-
1.3 維持管理				-	-	-
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-
2 維持管理用機能の確保				-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.4	0.50	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.4	0.50	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-
2 免震・制震・制振性能		基礎免震構造採用		5.0	0.20	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		倉庫:床塗材(コンクリート金ごて押え)、壁:外壁材表し(金属サンドイッチパネル)、天井:デッキプレート表し		5.0	0.10	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VLP(B)、排水VP(B)、冷媒管CUP(C)、Eは不使用		4.0	0.20	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-
2.4 信頼性				4.0	0.20	-
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備		節水型器具を採用、可能な限り配管の系統を区分、汚水槽設置、受水槽に蛇口を設置		5.0	0.20	-
3 電気設備		非常用発電設備を設置、受電設備の二重化、電源設備等の地下空間への設置を回避		4.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-
5 通信・情報設備		通信の多様化、精密機械の地下空間への設置を回避、ケーブルテレビ等を設置		4.0	0.20	-
3 対応性・更新性				4.3	0.50	4.3

	3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1以下	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		床積載荷重:4500N/m ² 以上	5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラック、PF管採用	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	ケーブルラック、PF管採用	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			立地特性を把握・保全と創出に関わる方針を計画、既存樹木を保存、自生種保存、維持管理に必要な設備を計画等	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.66	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.46、LED照明設備を採用	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外への評価				2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			中央監視設備によりテナント毎に消費量を把握、妥当性の確認が可能	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				1.0	0.50	-	-	
集合住宅への評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			自動水栓に加えて節水型便器も採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			断熱材、ボード・天井仕上材、フリーアクセスフロア・床材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			壁・天井共軽鉄下地を採用し、再利用可能なOAフロアも採用している	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材等を採用	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率=76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			燃焼機器の採用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			適切な量の駐輪場及び駐車場を確保し、荷捌き用車両の駐車施設も確保している。W=9600以上の車両出入口を3箇所に分散設置し、周辺道路の渋滞緩和対策としている	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			「光害対策ガイドライン」チェックリストの過半を満たし、広告物照明がない	5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	